

広報

10

Oct.2024
vol.658

笑顔は幸せのもと！世代を超えたふれあいの力

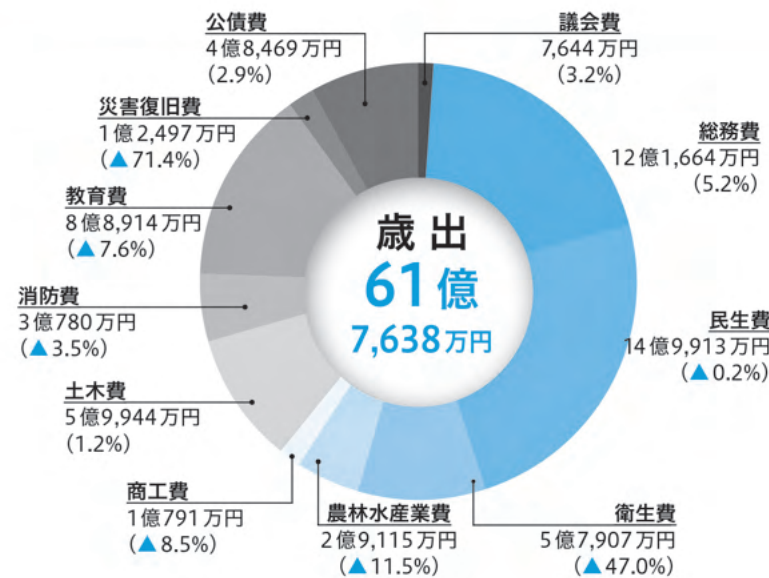
醸芳幼稚園では、地域との交流を深めるために、「ふれあい・いきいきサロンと幼稚園児の交流会」を9月17日、町内地区サロンで行いました。子どもたちは歌とダンスを披露した後、いつも遊んでいる手遊びをサロン参加者の皆さんと一緒に楽しみました。世代を超えたふれあいは、たくさんの笑顔を育み、地域の活力につながっていく——、そんな元気いっぱいの交流会となりました。



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

歳出の特徴

令和5年度歳出決算の主な特徴は、将来の財政需要に備えるため、公共施設維持管理基金などへの積み立てにより総務費が増加した一方で、令和4年3月の本県沖地震に係る災害復旧事業の完了による災害復旧費の減少、さらに災害廃棄物処理事業（被災家屋公費解体）の完了により、衛生費が減少しました。



性質別歳出内訳 ※（ ）前年度比増減率

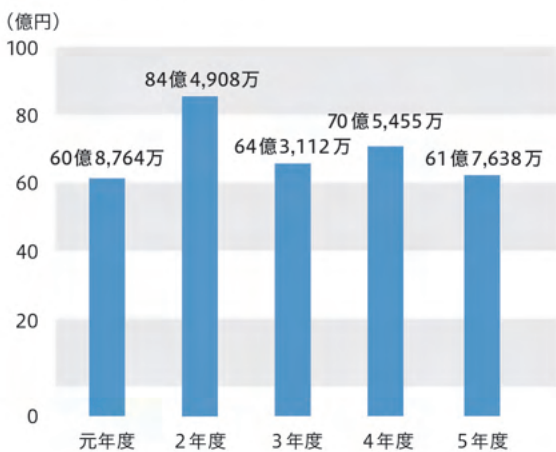
41.0% (6.0%)	義務的経費 25億2,548万円 人件費 13億5,011万円 扶助費※1 6億8,899万円 公債費 4億8,638万円 ※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者を福祉の面で支えるお金
9.3% (▲61.0%)	投資的経費 5億7,871万円 普通建設事業費 4億4,762万円 災害復旧事業費 1億3,109万円
49.8% (▲3.6%)	一般的経費 30億7,219万円 物件費 10億9,260万円 繰入金※2 7億7,750万円 補助費など 7億407万円 その他 4億9,802万円 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額

費目	決算額	対前年度増減額
民生費	136,000円	939
総務費	110,372円	6,473
教育費	80,662円	▲5,847
土木費	54,380円	1,138
衛生費	52,533円	▲45,724
公債費	43,971円	1,643
消防費	27,924円	▲756
農林水産業費	26,413円	▲3,147
災害復旧費	11,337円	▲27,933
農工商費	9,790円	▲806
議会費	6,935円	278
諸支出金	0円	0
合計	560,317円	▲73,742

※令和6年3月31日現在の人口11,203人をもとに算出

歳出決算額の推移

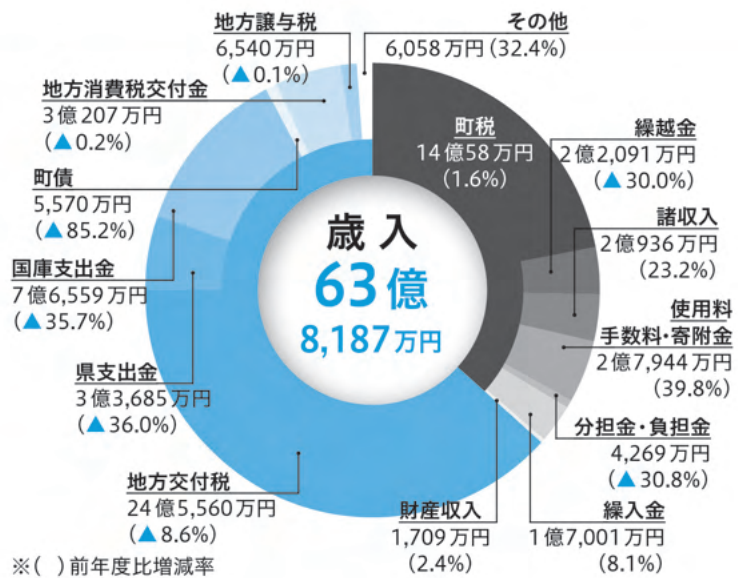


用語の説明

【一般会計】 福祉や教育、土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計	【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金	【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
【依存財源】 地方交付税など、国や県の意味によって額が決められ、割り当てられるお金	【国庫・県支出金】 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
【町税】 住民が町に納める税金	【町債】 国や銀行などからの借入金
	【公債費】 町債の返済に使うお金

歳入の特徴

令和5年度歳入決算の主な特徴は、令和4年3月の本県沖地震に係る災害復旧事業の完了により、財源としていた国・県支出金および町債などが減少した一方で、町産桃をはじめとしたふるさと納税の返礼品が好評だったことから、寄附金が増加しました。



※（ ）前年度比増減率

決算とは、皆さんが納付した税金や、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのような目的で使ったかを明らかにする「町の家計簿」のようなもので、町の1年間のあゆみ・記録となります。

決算は黒字
町総合計画の前期計画期間の中間年次となる令和5年度は、歳入総額63億8,187万円（前年度比14・9%減）、歳出総額61億7,638万円（前年度比12・4%減）、歳入歳出差引額は、2億549万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源5,378万円を差し引いた1億5,171万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、7,600万円を財政調整基金に積み立て、残り7,571万円を翌年度に繰り越しました。

予算の執行では、事業の重点選択化と経費節減・合理化を図り、国や県からの補助金など特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	12億8,624万円	12億3,086万円	5,538万円
後期高齢者医療	1億9,891万円	1億9,832万円	59万円
介護保険	18億350万円	16億3,057万円	1億7,293万円
公共下水道事業	3億2,462万円	2億6,616万円	5,846万円
半田財産区	256万円	226万円	30万円

各種基金の残高 (令和5年度末)

会計区分	基金名	令和4年度末残高(A)	令和5年度積立額(B)	令和5年度取崩額(C)	令和5年度末残高(A)+(B)-(C)
一般会計	取崩し型	財政調整基金	14億2,057万円	2億2,125万円	16億4,182万円
		減債基金	1億3,375万円	—	1億3,375万円
		その他特定目的基金	9億6,863万円	4億1,032万円	1億6,954万円
	定額運用型	土地開発基金	1億2,021万円	—	1億2,021万円
		奨学基金	8,000万円	—	8,000万円
	合計	27億2,316万円	6億3,157万円	1億6,954万円	31億8,519万円
国民健康保険	国民健康保険基金	8,409万円	500万円	—	8,909万円
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,915万円	6,090万円	—	1億8,005万円
半田財産区	財政調整基金	1,836万円	214万円	—	2,050万円

水道事業会計

会計区分	収入	支出	差引額
収益的収支	3億7,382万円	3億887万円	6,495万円
資本的収支	—	8,170万円	▲8,170万円

※資本的収支の不足額8,170万円は、留保資金、消費税、地方消費税資本的収支調整額および積立金で補てんしました。

令和5年度町財政の「健全化判断比率」「資金不足比率」「経常収支比率」

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、いずれも基準値内であることから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、令和4年3月本県沖地震災害復旧事業に係る借入に伴い、元利償還金が増加したことで、0.2ポイント増加しました。将来負担比率は、町債償還の着実な進展により借入金残高が減少したことなどにより皆減となりました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金（借金の返済）の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、**財政の健全性が保たれている** 状況です。

(単位：％)				
区 分		3 年度	4 年度	5 年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	－	－	－
	連結実質赤字比率 (20.0)	－	－	－
	実質公債費比率 (25.0)	9.2	9.2	9.4
	将来負担比率 (350.0)	14.0	5.4	－
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	－	－	－
	公共下水道事業特別会計	－	－	－
経常収支比率		88.1	87.6	89.4

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額がないため「－」と記載しています。将来負担比率は、マイナスとなり負担が発生していないため「－」と記載しています。資金不足比率は、資金不足がないため「－」と記載しています。
() 内は、早期健全化基準であり、これを超えた場合は、財政健全化団体（黄色信号）として自主的・計画的な改善が義務付けられています。

将来負担比率

一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何％に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。令和5年度県市町村平均は88.0％。

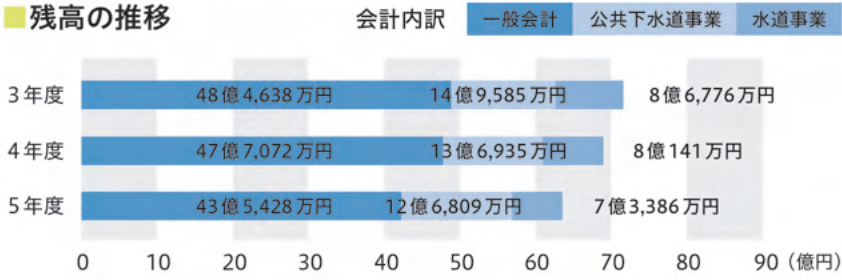
※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途の特定がない財源）の規模〔桑折町はおおむね38億円程度〕

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

令和5年度末 町債などの残高

会計区分		4 年度末残高 (A)	5 年度借入額 (B)	5 年度償還元金 (C)	5 年度末残高 (A) + (B) - (C)
町債	一般会計	47 億 7,072 万円	5,570 万円	4 億 7,214 万円	43 億 5,428 万円
	公共下水道事業特別会計	13 億 6,935 万円	4,520 万円	1 億 4,646 万円	12 億 6,809 万円
企業債	水道事業会計	8 億 141 万円	－	6,755 万円	7 億 3,386 万円



令和5年度
主な使いみち

重点プロジェクト	(単位：万円)
相馬福島道路伊達桑折IC周辺土地利用検討事業	851
献上桃30周年記念事業	854
地域防災力強化事業	4,756
住宅用再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助事業	346
こおり健康楽会事業	211
親子スポーツ・健康事業	304
英語教育推進事業（中学生の異文化体験事業）	232
旧伊達郡役所開庁140周年記念事業	989
活力と賑わいに満ちたまちづくり	
農業の振興（地域おこし協力隊委託事業、有害鳥獣対策事業など）	11,210
商工業の振興（桑折町商工業振興事業、空き店舗出店支援事業など）	759
土地利用の推進（町都市計画マスタープランの見直し、都市再生整備計画第2期策定業務）	304
危機管理に備えた安全安心のまちづくり	
消防・防災の強化（町消防団運営、伊達地方消防組合運営負担金など）	28,773
生活安全対策の推進（防犯灯整備・維持管理事業、交通安全対策事業など）	939
暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり	
都市緑化・景観づくりの推進（緑地公園維持管理事業）	1,652
道路・交通ネットワークの整備（町道新設改良事業、橋梁維持事業など）	18,779
居住環境の充実（町営住宅の維持修繕・長寿命化、合併処理浄化槽設置整備補助など）	3,183
環境共生の推進（ごみ減量および再資源化推進事業、環境保全啓発看板作成事業）	23
森林環境の保全（ふくしま森林再生事業）	1,356
環境衛生の充実（伊達地方衛生処理組合運営負担金、電動生ごみ処理器購入助成事業など）	9,262

令和6年度
一般会計上半期予算状況

予算補正の主なもの

定額減税補足給付事業（調整給付）	9,772 万円
新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業	2,158 万円

健康長寿で元気なまちづくり	
健康づくりと医療の推進（各種がん検診、新型コロナウイルスワクチン接種事業など）	9,010
地域福祉と障がい者福祉の推進（障がい者福祉扶助費、地域生活支援拠点等整備事業など）	32,458
高齢者福祉の推進（敬老の日記念事業、「献上桃の郷」おでかけパス利用助成事業など）	1,661
生涯学習の推進（生涯学習推進基本計画（第3次）策定業務）	231
生涯スポーツの推進（元気な体づくり運動教室、部活動地域移行関係者協議会）	233
活力と賑わいに満ちたまちづくり	
子育て支援の充実（子ども医療費助成事業、ネウボラ事業など）	7,622
乳幼児保育と教育の充実（保育所運営業務、幼稚園運営業務など）	22,159
学校教育の推進（学校給食費保護者負担軽減事業、特別支援教育の充実など）	12,300
交流で絆を育むまちづくり	
観光交流の振興（観光地周遊デジタルスタンプラリー事業、賑わい創出事業（伊達崎マルシェ）など）	4,725
歴史まちづくりの推進（桑折西山城跡を守る会事業補助金）	50
移住・定住の促進（移住定住PR促進事業、若者定住促進事業など）	1,653
シティプロモーションの推進（仙台圏域PR事業など）	708
町民との共創と効率的な行財政運営	
健全で持続可能な財政運営（ふるさと納税受付業務及び返礼品発送事業、コンビニ収納業務）	9,363
行政機能の充実強化（証明書等コンビニ交付サービス、デジタルデバйд対策事業など）	429
誰もが参加できるまちづくりの推進（SDGs推進町民会議事業費補助金）	91
広報・広聴の充実（広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務）	483
新型コロナウイルス感染症関連 物価高騰対策関連	
新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金事業（こおりプレミアム商品券発行事業など）	8,098
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業（子育て応援商品券給付事業など）	10,689

今年度の当初予算総額は63億2,940万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、65億7,930万円となりました。

住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	2,097 万円
低所得者の子育て世帯への加算給付事業	245 万円



1・2_ グランケット桑折と学VIVAを視察し、町の賑わい創出や学習環境整備について意見交換 3_ 相互の協力関係を確

内堀雅雄知事と高橋宣博町長の意見交換会が8月19日、グランケット桑折および役場で行われました。はじめに、内堀県知事は今年3月にプレオープンを迎えたグランケット桑折を視察。国道4号や駅から近い好立地であることや食材調達が可能であることな

ど、まちなかで気軽にグランピングが楽しめる施設の魅力を実感され、地域活性化に期待を込めました。また、いちい桑折店内にある学VIVAも視察し、学習環境の重要性などについて意見を交わすなど、県と町相互の協力関係を改めて確認しました。

町の施策について意見交換 内堀福島県知事が来町



1_ ピザスタ、リカーショップ旭屋などで販売中(順次拡大予定)
2_ 田中香代子副町長(左から2番目)に報告をする関係者の皆さん

町発祥のりんご「王林」を使った6次化商品「幸福の王林水ゼリー」が完成し、完成報告が8月30日、役場で行われました。同商品は、町産王林の果汁や(有)香村工業が手掛ける名水「香村金剛水」、脳の疲労回復に働くといわれるブドウ糖などを使用し、町内の山吉青果

食品(株)が製造。香り高い王林の風味とスッキリとした甘みが楽しめる商品となりました。町振興公社の石幡正則理事長は「地元愛が詰まった商品。王林の魅力を広めていきたい」と意気込みを話しました。商品の問い合わせは、町振興公社まで(☎572-3216)。

町発祥の「王林」を活用 「幸福の王林水ゼリー」発売



voice 醸芳小 菅野 泰瑠 さん

平和記念式典で、みんなと一緒に黙とうをし、平和を願うことができたことはとても有意義でした。今、普通に生活を送ることができる大切さに気付かされました。資料館で見た目を覆いたくなるような展示品や被爆体験者の残酷な話などは、胸が締め付けられる思いでした。私にできることは、平和学習で学んだことをみんなに伝え、命の大切さや平和について、これからも考えていくことだと思いました。

voice 醸芳小 佐藤 碧音 さん

戦争を経験していない世代が多い今、戦争の記憶を風化させないためにも、私が見つけたことをたくさんの人に伝えていかなければならないと強い責任を感じました。一人一人が平和について考え、できることを実行することが大切ですが、何も知らないままでは行動することができません。まずは、過去に何があったのか、今世界では何が起きているのかを「知る」ことから共に始めていきましょう。

原爆投下の日に、広島を訪問
戦争・平和と向き合う3日間
平和学習派遣事業が8月5日から7日に行われ、各小学校6年生の代表児童5人が参加しました。児童らは、広島市の平和記念式典に参列し、市長による平和宣言やこども代表の平和への誓いを聞き、原爆の子の像に千羽鶴を奉納。被爆者体験講話では、当時の惨状を語る生の声に触れることができました。また、平和記念資料館では、戦争や原爆の悲惨さを物語る資料を目の当たりにし、現実起こった出来事と真剣に向き合うなど、児童らは、戦争の恐ろしさや平和の尊さを熱心に学びました。

voice 醸芳小 菅野 泰瑠 さん

平和記念式典の日、多くの外国人が街を行き交う姿が見られ、世界中の人々が平和を望んでいるのだと感じました。しかし、ロシアなどは式典に参列しておらず、今戦争をしている国こそ、戦争の怖さを知ってほしいと思いました。私は、今なお多くの人々を苦しめている原爆の恐ろしさを家族や友達に伝えながら、好きなことができる日常が当たり前ではないと思ひながら、毎日を大切に生きていきたいです。

voice 睦合小 佐藤 結莉菜 さん

たった一発の原子力爆弾が14万人もの尊い命を奪い、生き残った方々も一生治ることのない傷を負いました。私は、その事実を知るだけでなく、一人一人の思いに自分を重ね、考えることが大切だと実感しました。過去の悲惨な出来事の上に今の平和があり、そのことを忘れると平和は崩れてしまうということを胸に刻み、これからも自分事として平和学習を続けていきたいと思っています。

voice 伊達崎小 渡邊 輝空 さん

資料館で見た写真には、爆風や放射線、熱線を浴びた方々が写されており、あまりの悲惨さに思わず「地獄と同じだ…」と呟いてしまいました。平和記念式典で子ども代表が述べた「平和への誓い」はとても力強く、平和を願うだけでなく、自分たちにできることや考え方を示していました。平和とは大人の誰かが考えてくれる他人事ではなく、私たちも自分事として考え、行動していかなければならないと強く思いました。

広告

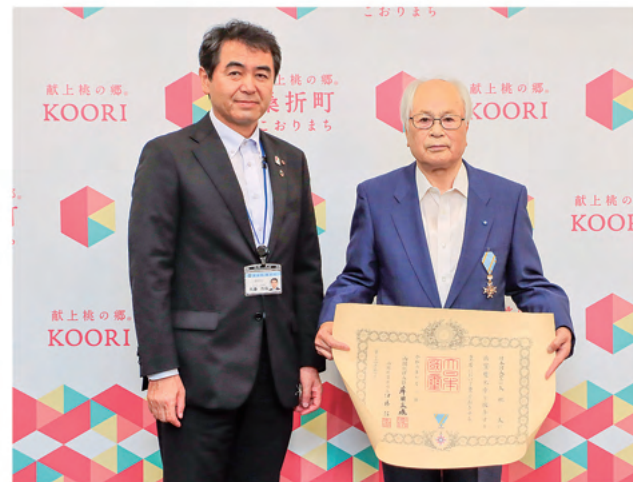


▲（左から）高橋町長、榊監督、羽根田監督、佐藤教育長。それぞれの目標に向かって気持ちを高める両監督

「第18回市町村対抗福島県軟式野球大会」および「第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会」に出場する桑折町チームへの激励金贈呈式が9月11日、役場で行われました。軟式野球チームの榊友紀博監督は「強豪相手だが初戦突破を目指す」、ソフトボールチーム

の羽根田太陽監督は「新メンバーの打撃を軸に1勝を」と、それぞれ抱負を話しました。野球チームは9月22日にほばら大泉球場で棚倉町と対戦、ソフトボールチームは10月6日に相馬光陽ソフトボール場で大熊町と対戦予定。試合の様子は次号以降に掲載します。

軟式野球・ソフトボールチームへ 健闘祈り激励金贈呈



▲佐藤教育長（左）より勲記・勲章の伝達を受け「身が引き締まる思い」と話す大槻さん（右）

子どもの教育振興に尽力 大槻太さんに叙勲

高齢者叙勲「瑞宝双光章」を授与された大槻太さんの伝達式が8月28日、役場で行われました。式では、佐藤浩哉教育長から、勲記と勲章が伝達され、感謝の意が表されました。

大槻さんは、国見町梁川町大枝小学校（現在は閉校）をはじめ、伊達町立（現

伊達市立）東小学校や国見町立藤田小学校の校長を歴任し、37年にわたり教育振興のために尽力されました。退職後は、町の体験活動・ボランティア活動支援センターのコーディネーターとして、小中学生の「自ら学び考える力」を育みました。



▲若年性認知症と診断された夫とその妻が、さまざまな困難を乗り越えていく物語に自分自身を重ねて鑑賞する参加者の皆さん

認知症への理解を深め、地域での支え合いを推進するため、若年性認知症を題材にした映画「オレンジ・ランプ」の上映会が9月8日、イコーゼで開かれ、約90人が参加しました。

上映会では、実話を基に描かれた心に響くストーリーに涙する参加者もあり、認知症本人や家族の想いを知る機会となりました。また、認知症症状がもたらす日常生活への影響を実際に体験できる「認知症VR体験」も行われました。映画や体験を通して、認知症とともに生きる地域を考えるイベントとなりました。

認知症について理解を深める 映画「オレンジ・ランプ」上映会



▲佐藤教育長（左）より位記・勲記・勲章の伝達を受け「家族ともども感謝の気持ちでいっぱいです」と話す妻・玲子さん（右）

子どもの健全育成に尽力 故・坂内明生さんに叙位叙勲

死亡叙位叙勲「正六位」および「瑞宝双光章」を授与された故・坂内明生さんの伝達式が8月28日、役場で行われました。式では、佐藤教育長から、位記、勲記および勲章の伝達が行われ、妻の玲子さんに手渡されました。

坂内さんは、二本松市立

安達太良小学校をはじめ、月館町立月館小学校（現在は閉校）や伊達市立伊達小学校の校長を歴任し、37年にわたり教育振興のために尽力されました。退職後は、町社会教育指導員や伊達崎・半田公民館長、地域クラブの指導者を務め、子どもの健全育成に寄与されました。

広告

広告

広告



新任 外国語指導助手 ALT

Ryan Kyung-soo Cho

ライアン・ギョンス・チョ

出身：アメリカ 年齢：24 歳

ようこそ！桑折町へ

はじめまして、ALT のライアンです
英語を身につけ、世界を広げよう！

桑折町の皆さん、はじめまして。8月から町のALTに着任しましたライアン・チョです。両親は韓国人ですが、私はアメリカのワシントン州で生まれ育ちました。アメリカの大学では、音楽の演奏を学び、大学院では音楽教育を専攻していました。父が寿司職人をしており、昔から日本の文化に憧れをもっていたので、日本に来ることができてとても嬉しいです。世界の文化に触れることは大切なことです。皆さんにも英語を通して、世界とつながってほしいと思っています。



故郷の風景

趣味・特技



ステージ上でバイオリンを演奏

私の趣味は音楽演奏です。バイオリンやバイオリン、ドラムを演奏できます。特にバイオリンは得意で、13歳のころから弾き始め、大学生のころは度々ステージで演奏していました。日本でも音楽を教えたいと思っていますし、近くにオーケストラがあれば参加してみたいです！

また、ジャズやヘヴィメタルをよく聞きます。音楽は世界の共通言語です。音楽を通してみなさんと仲良くなれると嬉しいです。

授業の様子



幼稚園での授業

2学期から学校や幼稚園で英語を教えています。最初は緊張しましたが、皆さんが元気に授業を受けてくれるので私も楽しく教えることができます。これからは、アメリカの文化も交えて、実践的な英会話スキルと国際理解を深めるような授業をしたいです。英語以外にも教えてほしいことがあれば何でも聞いてください！私も日本について知りたいことがいっぱいあるので、互いに教え合いましょう。

半田銀山の歴史を訪ねて
ふるさと歴史講座

「ふるさと歴史講座 半田銀山の歴史」の第3回目、「半田銀山遺跡を歩く」が9月7日に行われ、35人が参加しました。当日は、町歴史案内人の解説により、半田銀山中舗坑口やズリ山の石垣、明治天皇行幸記念碑

がある半田銀山史跡公園を見学しました。参加者は、11月10日に開かれる「半田銀山シンポジウム」を前に機運を高めるとともに、五代友厚が再興し、産銀高日本一になった歴史を学び、理解を深めました。



坑口の前に立ち、坑内の空気を肌で感じる参加者

伊達氏発祥の地で学ぶ
第2回西山城講演会

昨年に続き2回目となる「桑折西山城講演会」が9月14日、イコーゼで開かれ、約130人が参加しました。当日は、仙台市博物館学芸員の佐々木徹さんが「伊達植宗と桑折西山城」と題して講演し、陸奥国守護で桑折

西山城を築いた伊達植宗の実績や人柄について、戦国法の「塵芥集」などの資料を基に説明しました。参加者は「植宗の先進的な取り組みを知ることができた」「天文の乱が起る経緯が理解できた」などと話しました。



▲相続制度や手続きの説明を基に、エンディングノートを活用しながら我が家の将来について考える参加者

これからの住まいについて考える
空家セミナー&相談会

桑折まちづくりネット主催（町共催）のセミナー「住まいるエンディングノート」を書いてみよう&空家相談会」が8月31日、役場で行われ、13人が参加しました。

当日は、我が家の住まいの情報や将来どうしてほしいかを書いて残しておける「住まいるエンディングノート」の活用方法を紹介。参加者は、

相続時に参考となる制度や手続きについて、講師の司法書士から話を聞いた後、我が家の将来について、実際にノートに書き込んでいきました。参加者からは「自宅の将来の在り方について、家族と共有できる良いツールになる」「ノートを使得、我が家の将来をじっくり整理したい」などの声が寄せられました。



早期発見と耳にやさしい生活で予防しよう

加齢に伴う難聴は、老化現象の一種なので、誰にでも起こりうることです。しかし、進行を緩やかにすることや加齢以外の原因を避けるという意味での予防は十分に可能です。



早期発見をしよう

聞こえチェック

聞こえのセルフチェックを
してみましょう

- ☐ 会話をしているときに聞き返す。
- ☐ 後ろから呼びかけられると、気づかないことがある。
- ☐ 聞き間違いが多い。
- ☐ 話し声が大きいと言われる。
- ☐ 見えないところからの車の接近に気づかない。
- ☐ 電子レンジなどの電子音が聞こえない。
- ☐ 耳鳴りがある。

参考：一般社団法人日本補聴器販売協会ウェブサイト より

1～2 個

実生活でお困りのことがあれば、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

3～4 個

耳鼻咽喉科で相談してみましょう。

5 個以上

早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。



スマホアプリ「みんなの聴脳力チェック」を使用し、聞こえの状態を簡単にチェックすることができます。チェックの結果、語音聴取率 60%未満の人は耳鼻咽喉科の受診をお勧めします。音声で流れる単音の言葉をクイズ形式で答える 3～5 分程度の無料ゲームアプリです。



会員登録なしで利用できます。
下記の二次元コードよりダウンロードできます。



GET IT ON
Google Play



Available on the
App Store

耳にやさしい生活を心がける

大きな音を聞くと、耳の中にある細胞が傷つき、減少してしまう恐れがあります。

- 大音量でテレビを見たり、音楽を聴いたりしない
- イヤホンで大きな音を聞かない
- 工事現場やパチンコ店など、大きな音が常時出ている場所を避ける
- 騒音下で仕事をしている人は耳栓をする
- 静かな場所で耳を休ませる時間を作る

できるだけ早期から「聞こえ」を改善し、言葉を聞き分ける能力を最大限に発揮することが大切です。また、単なる加齢性難聴ではなく、中耳炎による難聴や騒音・ウイルスなどにより、難聴をさらに進行させてしまう場合もあります。その場合は、投薬治療や手術などで治療できる可能性もありますので、「耳が聞こえにくいのは歳のせい」と決めつけずに、耳鼻咽喉科医を受診しましょう。



◆加齢性難聴とは
65歳を超えると聞こえにくさを感じる人が一気に増え、75歳以上の約半数が聞こえにくさを感じています。加齢以外の要因がなく聞こえにくい状態になることを「加齢性難聴」と呼びます。加齢によって音を感知する細胞の数が減ることが主な原因です。細胞が一度壊れてしまうと、現代の医療では再生ができません。根本的な治療法はありません。

年代	男性	女性
55～59	14.6%	9.6%
60～64	18.8%	10.6%
65～69	43.7%	27.7%
70～74	51.1%	41.8%
75～79	71.4%	67.3%
80～	84.3%	73.3%

65歳から急激に増加

出典：全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率
～老化に関する長期縦断疫学研究より

難聴により周囲との関わり合いが大きく変化すると、自分に自信がなくなり、人との会話や交流をさけ、閉じこもりがちになります。人付き合いがなくなると、社会的に孤立し、うつ状態に陥り、認知症のリスクが高まります。
また、耳から入る音の刺激が減ることによって脳への刺激が減るなどのリスクが高まるとされています。

◆認知機能への影響
難聴になるとさまざまな社会生活に支障をきたすようになります。
・危険を察知する能力が低下する（車の接近に気が付かないなど）
・コミュニケーションがうまくいかなくなる（家族や友人との会話が楽しめないなど）



広 告

管理栄養士のおすすめレシピ 鮭のくるみソース炒め



管理栄養士課程実習生
浅野智加さん

秋に旬を迎える鮭としめじを使い、甘いくるみソースが食欲をそそる秋を感じられるメニューです。鮭やくるみに含まれるオメガ3脂肪酸は動脈硬化防止や血中の中性脂質低下が期待できます。また、しめじやブロッコリーに含まれる食物繊維は血糖値低下に効果があります。

塩分
0.8g



■材料（4人分）

鮭……………2切身
酒……………大さじ1
しょうが……………小さじ1
しょうゆ……………小さじ1
片栗粉……………小さじ1
しめじ……………1/2房
ブロッコリー……………1株
くるみ……………20g
すりごま……………大さじ1
みそ……………小さじ2
みりん……………大さじ1
砂糖……………大さじ2
しょうゆ……………小さじ1
水……………100cc
油……………大さじ1

■作り方

- ①鮭を2cm幅に切り、ボウルにAを合わせ、鮭を加えて10分程置き、片栗粉をまぶす。
- ②しめじは石づきを落としてほぐす。ブロッコリー小房に分けて茹でる。
- ③炒ったクルミをすりつぶし、Bを混ぜ合わせくるみソースを作る。
- ④フライパンに油をひき、鮭を焼く。両面に焼き目がついたら一度取り出す。
- ⑤しめじとブロッコリーを炒める。
- ⑥鮭を戻し、くるみソースを和えて皿に盛り付ける。

【1食分の栄養価】 エネルギー 213kcal/たんぱく質 16.5g / 脂質 11.6g / カルシウム 60mg / 鉄 1.5mg / 塩分 0.8g

コロナワクチン定期接種

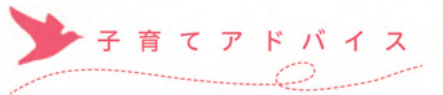
ワクチンの定期接種期間は10月から3月末までです。接種を希望する人は、直接医療機関に予約をして接種してください。

- 対象者 65歳以上の人、60歳から64歳の人で、心臓・腎臓・呼吸器などに重い障害があり身体障害者手帳1級相当の人
- 自己負担額 2,100円（生活保護世帯は無料）
- 実施医療機関 県内の指定医療機関（主に内科系）

広 告

NEWS

児童虐待を防ぐ



毎年増えてきている児童虐待。殴る蹴るなどの暴力のほかに、食事を与えず放置したり、熱湯をかけたり、お風呂に沈めたりなど、その実態はさまざまです。中には、保護者が「しつけ」と称して暴力をふるい、死亡するといった痛ましい事件も発生しています。虐待を防ぐには、保護者自身のストレス軽減や周りの人たちの気づき、サポートが必要です。少しでも気になることがある場合は、迷わず相談窓口ご連絡してください。

ー しつけと体罰の関係って？ ー

「しつけ」とは、子どもの人格や才能などを伸ばし、社会において自律した生活を送るようにサポートしていくことです。子どもと向き合い、社会生活をしていく上で必要なことを、しっかりと教え伝えていくことが大切です。ただし、たとえしつけのためだと親が思っても、身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為（罰）である場合は、どんなに軽いものであっても「体罰」に該当し法律で禁止されます。子どもにしつけをするときは、子どもの発達しつつある能力に合う方法で行う必要があり、「体罰」で押さえつけるしつけは、この目的に合うものではなく、許されません。どうすればよいのかを言葉や見本で示すなど、本人が理解できる方法で伝える必要があります。

これらはすべて虐待です！！

身体的虐待

- 殴る ○蹴る
- やけどをさせる
- 戸外に閉め出す など

心理的虐待

- 暴言を浴びせる
- きょうだいの差別
- 家庭内での暴力・暴言を見聞かせる
- 無視する など

ネグレクト

- 食事を与えない
- 身なりが不衛生
- 夜子どもだけで家に置く
- 進学させない など

性的虐待

- わいせつな行為、性行為の強要
- 性器を触らせる
- ポルノビデオを見せる・被写体にする など

児童虐待相談件数で最も多いのは心理的虐待

児童相談所に寄せられる相談内容は「心理的虐待」の割合が最も多く、子どもを叩いていなくても、「こんなこともできないの？何度言ったらわかるの？馬鹿な子ね!!」などと罵声を浴びせたり、子どもの目の前で夫婦喧嘩や家庭内DVを見聞かさせたりする「面前DV」などがあります。これらは全て子どもの心（精神）や脳の発達への影響が心配される心理的虐待となります。

心理的虐待による影響

- 心的外傷後ストレス障害（PTSD）
- うつ病
例：周囲が信じられず、引きこもる
- 依存症（アルコール・薬物・ゲーム・ギャンブル）
例：他に快楽を求める
- 自殺企図
例：自分なんかいなくなればいいと思ってしまう など

虐待を防ぐためにも、保護者のストレス要因を少しでも減らしましょう。

○職場や家事のストレス ○経済的なストレス ○看護や介護のストレス ○子どもの発育のストレス

子育てを担うことは、大変なことです。子どもに腹が立ったり、イライラしたりすることは、子育て中の保護者の多くが経験するものです。ストレス要因を減らすと同時に、イライラしそうな場合は、次の3つのポイントを参考に、感情をコントロールしていきましょう。

- ①自分がイライラしていることに気づき、認める
- ②気持ちをクールダウンさせる（例：深呼吸をする、好きな音楽を聴くなど）
- ③助けを求める（家族で話し合ったり、関係機関に相談する）



もし自分自身で「このままだと虐待しそう!」や近隣の人「あそこの家、大丈夫かな?」と思ったら、迷わず『189（いちちはやく）』へお電話を!!

※通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

図書だより

図遊学館よも～よ ☎582-5388

今月のおすすめ

あの時に想いをはせて



一般書

■ミチノオク

佐伯一麦：著（新潮社）

震災から十余年、故郷東北を再発見する旅で出会う、歴史と人の心のオク。数々の天変地異に見舞われながら、ミチノクの人々はひたむきに生き、確かな文化や習俗を育んできた。仙台市在住の作家が辿る、現代の「おくのほそ道」。東北で生きる人々の人生の曲折を、還暦を迎えた自身のこれまでと重ね合わせて描く、九つの紀行小説集。

■桃太郎のユーウツ

玄侑宗久：著（朝日新聞出版）

福島在住の僧侶作家が震災、コロナ禍のもとで、大きなユーウツと見え隠れする希望を描く六つの作品集。母親を亡くした少女の切なさに僧侶が寄り添う「セロファン」、復興住宅に住む老人がこだわる「火男おどり」、近未来〈独り暮らし基本法〉施行下で命の交流を問う「繭の家」、除染作業員・桃太郎の鬱々とした心の行方をコミカルに追う表題作。



一般書



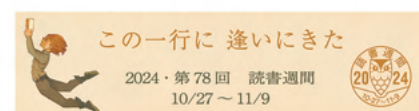
読書週間企画

よみくじを引こう！

遊学館「よも～よ」では、10月27日から11月9日の読書週間に合わせて、「よみくじ」をモチーフにした「よみくじ」を配布します。

期間中、来館して本を借りると、1日1回「今日の運勢」や「おすすめの本や作家」が載っている「よみくじ」を引くことができます。

大吉、中吉などの運勢の種類によって、景品をプレゼント。エコバッグや飲み物など、今年は選べる景品を用意していますので、期間中何度も足を運んでみてください。この機会に、たくさんの本に出会い、読書の幅を広げてみませんか。



Information

部活動指導員 外部指導者募集中！

町では、醸芳中学校の部活動における指導員を募集しています。

部活動指導員とは、学校長の監督のもと、顧問の代わりに単独で指導・引率ができる方。外部指導者とは、顧問の教諭と協力しながら、技術的指導を行う方です。

中学校の部活動で、あなたの経験を活かしてみませんか。詳しい活動条件や報酬などは、右記をご覧ください。



マルベリーこおり

図事務局 ☎582-3129

初心者も大歓迎！参加者募集

ノルディックウォーキング教室

2本の専用ポールを使って歩くことで、足腰にかかる負担を軽減します。また、腕を使うことで上半身を使い、全身の約90%の筋肉を動かす有酸素運動としてもおすすめです。初めてでも安心！JNFA公認インストラクターが丁寧に指導します。

■開催日 毎週木曜日

■時間 9:30～11:30

■場所

《元気に歩くロングコース》

奇数週／だてかべジフル前

《ゆったり歩くショートコース》

偶数週／ふれあい公園

■参加料

会員500円／未会員700円

※別途レンタルポール300円



生涯学習だより

涼しい～！蔵王で自然満喫！

夏休み最後にバスでお出かけ

キッズスクール「蔵王へ行こう！」が8月20日に行われ、小学生の会員6人が宮城県蔵王方面を訪れました。はじめに、蔵王ハイラインを上って、「御釜」へ。下界に比べて、気温が10度低く、「桑折町にこの涼しい風を持ち帰りたい」という声も。エメラルドグリーン色の湖面を眺め、楽しくおしゃべりしながら、山頂を目指しました。途中霧に包まれたり、山野草を観察したりしているうちに、熊野神社に到着。一人一人御朱印を押した後、大自然のおいしい空気を吸いながら、仲良く昼食をほお張りしました。次に、白石市の「ことりはうす」に移動し、木材で小鳥の形をしたブローチづくりに挑戦。好きな鳥の種類を選び、個性あふれる作品ができました。本事業では、町内4校の小学4～6年生を対象に、学校では体験できないことを楽しく学びます。随時会員募集中です。



ヤクルト工場へ 大人の社会科見学

「大人の社会科見学」が8月27日、(株)ヤクルト本社福島工場で行われ、参加者22人が商品の製造工程を学びました。はじめに、会社の歴史や工場で生産している商品について、案内担当者に紹介いただきました。その後、見学通路に移動し、生きたまま腸に届く乳酸菌を育てるところから、ロボットによって包装・箱詰めされていく過程を見学しました。普段目にすることのない工場を見ることができ、帰りにお土産もいただき、参加者は満足そうな様子でした。



お札のひみつ 新紙幣の特徴学ぶ

成人講座「お札の秘密発見」が日本銀行福島支店の菊地美紗季さんを講師に迎え、8月30日に半田公民館で行われ、12人が参加しました。前半は日本銀行の役割、後半は新札の秘密を学びました。新札の偽造防止の技術は、①肖像や額面などがざらざら②世界初の透かし模様③3Dホログラム④コピー機で再現できない超精密画線やマイクロ文字など10種類あり、参加者からは驚きの声が上がりました。新札の秘密に、改めて日本の技術のすごさを感じました。



食べ物の入口 歯と口の健康講座

成人講座「歯と口の健康講座」が8月6日、イコーゼで行われ、19人が参加しました。講師は、県北福祉事務所主任医療技師の根本亜希子さん。歯科衛生士としての勤務経験から、歯や口を健康に保つための具体的な方法を教えていただきました。参加者から出された歯磨きや歯ブラシ選びに関する質問にも、詳しく答えていただきました。参加者からは「年に1度は歯科医で検診を受けることが大切である」という話が印象的だった」などの感想がありました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | もう一度確認しよう！SDGs

図 総合政策課
☎ 582-2115

世界的なSDGsの取り組みが始まって10年が経ちました。今一度、SDGsとは何か、私たち一人一人にできることは何かを確認し、より良い未来をともに築いていきましょう！

SDGsとは

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことで、国連に加盟している193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標です。目標は、貧困問題から環境問題、男女平等など多岐にわたります。これまでになかったような数多くの課題に直面している人類が、安定して暮らし続けていけるように掲げた目標が、SDGsです。

町の取り組み

町は、令和3年に「SDGs推進の町」を宣言し、令和4年に「桑折町SDGs推進町民会議」が発足しました。ごみの減量化をはじめ、再生可能エネルギーの推進、健康づくりの推進、質の高い教育の推進など、各分野でSDGsに取り組んでいます。これらの取り組みは、行政だけでなく、自治組織や事業所、各家庭など多くの人たちがそれぞれの方法、考え方で推進しています。

一人一人が日常生活で取り組めるアクションを紹介

一部のみ紹介します。それぞれ何ができるか考えてみましょう。



■節電

- ・使用後はこまめに電源を消す
- ・使用していない電源プラグを抜く

■節水

- ・食器を洗うときは、水の使用量を意識する
- ・お風呂の残り湯を洗濯などに再利用する
- ・シャワーヘッドは節水効果のあるものを使う

■フードロスを減らす

- ・冷凍を活用してロスを抑える
- ・お店で手前に置かれている食品から買う
- ・食材への知識を深め、無駄なく使い切る

■エコドライブを心がける

- ・発進時は、穏やかにアクセルを踏む
- ・車間距離にゆとりをもち、加速・減速の少ない運転を
- ・適切なエアコンの使用
- ・不要な荷物はおろす

■ジェンダー平等を意識する

- ・家庭内で家事や育児の分担を話し合う

これらの取り組みは、自然環境保護や地球資源保護、温室効果ガスの削減、ごみ処理経費の削減、誰もが生きやすい社会の実現などに繋がります。



町のごみ排出量

※1人1日あたりの排出量

令和6年8月

1,119 g

前月比 -15 g

福島県平均（令和4年度）1,021 g

分別に困ったら…

伊達地方衛生処理組合のホームページで検索



広 告

広 告

わたしの夢

Dreams come true.

笑顔届ける栄養士

高橋 ここみ さん（醸芳中3年生）



KOKOMI
TAKAHASHI

父がつくるハンバーグとピザ、母がつくるおいなりさんが大好きです！

私の夢は、自分が考えたレシピでたくさんの人を笑顔にする栄養士になることです。

料理好きな父の姿を見て育った私は、小さいころからよく一緒にキッチンに立ち手伝いをしていました。中学生になると、休みの日などには、一人で家族のご飯を作るようになり、「おいしい！」と言ってもらえることが嬉しく、もっと多くの人に食べることの幸せを届けたいと思うようになりました。食材の組み合わせや味のアレンジなど献立を考えるのも楽しく、これからは料理のレパートリーを増やしていきたいです。将来は、幼稚園などで働き、子どもたちが好き嫌いなくご飯を食べて、元気いっぱい育っていけるような給食を考えられる栄養士を目指したいです。

まちのお知らせ

Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象

企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時

原則、平日 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 16:30 の間

■お願い

会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体をお願いします。

図 税務住民課 住民国保係 ☎ 582-2114

令和6年度 自衛官募集 募集人員・試験内容など、詳細は問い合わせください。

募集種目	資格	受付期間	試験期日
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	推薦	男子で中卒（見込含）17歳未満 かつ学校長が推薦できる者	10月1日～ 11月29日
	一般	男子で中卒（見込含）17歳未満	10月1日～ 令和7年1月16日
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満	10月1日～11月28日	1次 12月7日～12日 2次 令和7年1月6日～13日
自衛官候補生		年間を通じて実施	受付時または各自衛隊地方協力本部の ホームページにてお知らせします。

自衛隊福島地方協力本部 福島募集案内所 ☎ 545-7995

日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ㊟休日当番医 ◆母子手帳交付・すくすくの日 (☎582-6045)へ事前にご連絡ください。 【子育て支援センター】:イコーゼ 10:00~11:30 ♥ベビールーム(1か月~1歳5か月ごろのお子さんと保護者) ★キッズひろば(1歳6か月ごろ~就園前のお子さんと保護者)			2 ★ ・広報10月号発行 ・お知らせ版発行 ・特定健診 ・後期高齢者健診 ・各種がん検診	3 ♥	4 ★◆	5 ・幼稚園運動会 ・桑折学習塾(中学3年) ・桑折西山城草刈りボランティア ・パステルアートに挑戦!
6 健康測定会(ふくしまパークフェスin桑折2024) ㊟さとう整形外科内科クリニック ☎572-7606	7 ♥ ・特定健診 ・後期高齢者健診 ・各種がん検診	8	9 ★ ・離乳食教室 ・館長杯ポッチャ大会	10 ・4・7カ月健診(R6年5・2月生) ・健康チェック&相談日 ・大腸がん検診検体回収日	11 ★◆ ・レディース検診 ・喀痰検診	12
13 ㊟なかのクリニック ☎575-2246	14 スポーツの日 ㊟ほばらクリニック ☎574-2522	15	16 ★ ・お知らせ版発行	17 ♥ 10・11カ月健診(R5年10・11月生)	18 ★◆	19 ・小学校学習発表会 ・桑折学習塾(中学生) ・第49回桑折町文化祭
20 第49回桑折町文化祭 ㊟こばやし子ども・内科クリニック ☎577-0663 ㊟伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121	21 ♥	22	23 ★	24 ♥	25 ◆	26 ・醸中祭
27 本を読んでよみくじを引こう!(11月9日まで/遊学館よも~よ) ㊟さとう整形外科クリニック ☎581-0123	28 ♥	29 すくすくカフェ	30 ★ 会津歴史巡り(大内宿・猪苗代方面)	31 ♥	1 ★◆	2

【編集後記】

▶ 10月17日の満月は、今年一年で一番地球に近い満月だそうです(俗に言うスーパームーン)。秋の夜長に月を眺めるのも良いかもしれませんが、物思いにふけてしまう恐れもあるので注意したいです。小林一茶の名句「名月を取ってくれろと泣く子かな」。我が家の子どもたちは月こそ取ってとは言わないものの、あそこの虫を取ってと言ってくれます。月ならば言い訳できるものを、精一杯平静を装い、心で悲鳴をあげながら手を伸ばすのでした(大越)

◆人口(前月比)9月1日付

人口	計	11,008人	(+8)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,376人	(+9)
	女	5,632人	(-1)
世帯数		4,670世帯	(+11)
転入など	34人	出生	5人
転出	18人	死亡	13人

◆今月の納税

- ・町県民税(普通徴収3期)
- ・国民健康保険税(普通徴収4期)
- ・介護保険料(普通徴収4期)
- ・後期高齢者医療保険料(普通徴収3期)

期限 **10月31日** 木

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長(毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。)

※当日午後5時までに税務住民課(☎582-2114)へ要予約。